

No.94経尿道的前立腺肥大症の手術(TUR-P)を受けられる方へ

ID @PATIENTID
氏名 @PATIENTNAME

経過	入院日・手術前日	手術当日前	手術当日後	手術後1日目	2日目	3日目～	退院前日	退院日
月日	/	/	/	/	/	/	/	/
治療・処置	リストバンドをつけます。 常用している薬がありましたら、お知らせください。 入院中の内服薬について確認します。 確認のため、薬を飲んだ後の空袋は残して置いてください。 	21時に下剤を飲みます。 	手術は : 頃～です。 治療の時間は当日の状況により変更になる場合があります。 看護師が声をお掛けするまでお部屋にてお待ち下さい。	酸素マスクを指示の時間までつけます。 手術後2日目の夕方まで点滴が続きます。 血栓予防の機械を足につけます。	血栓予防の機械を外します。 常用していた薬を再開します。	抗生剤終了後、点滴を抜きます。		退院後のお薬のある患者さんは退院時お渡しします。
検査・測定	身長・体重を測定します。 入院時に検温をします。		手術後に検温を必要時行います。	起床時採血があります。 1日3回検温します。	1日2回検温します。	← 1日1回検温をします。 →		
食事	昼食から食事ができます。 食事の内容・形態・量など変更が可能ですので、ご相談下さい。	21時以降禁食です。 医師から経口補水の許可のある方は翌日指示された時まで飲水ができます(別紙参照)	帰室4時間後から飲水(水かお茶)ができます。	朝から食事が始まります。 				
清潔	シャワーに入ってください。			シャワーに入れます。 看護師に声を掛けて下さい。				
排泄			手術後お小水の管が入ります。止血の為に管を引っぱって足に固定しているの、管を固定している側の足は曲げないで下さい。	医師の診察後、お小水の管を固定しているテープをはがします。		排尿の状況をみて医師の判断でお小水の管を抜きます。		
活動	特に制限はありませんが、病棟を長時間離れるときは看護師に声を掛けて下さい。		翌朝、医師の診察までベット上安静となります。	医師の診察後、歩行が可能となります。	病棟を長時間離れるときは看護師に声を掛けて下さい。			
患者・家族の皆様への説明等	主治医より今回の入院の説明があり、承諾書をお渡します。主治医・看護師より手術についての説明をします。 看護師より、入院生活・病棟内の説明があります。(入院のご案内にも同様の内容が記載されています。)手術に必要な物品を確認します。	麻酔科医師の術前訪問がある場合があります。 眠れない時は薬の用意があります。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">準備していただきたいもの ・寝衣 1枚 ・アテントテープ式オムツ 1枚</div>	手術の前に排尿を済ませ病室でお待ちください。入れ歯、メガネ、指輪などははずしておいて下さい。寝衣のまま歩いて手術室へ行きます。用意した物は手術室に持っていきます。 手術当日の面会制限はありません。手術中、ご家族の方は4階手術患者用の家族控え室でお待ちください。	手術後、主治医より説明があります。(後日になる場合もあります。)手術後、痛みや苦痛があるときは、鎮痛薬の注射か坐薬を準備しています。我慢せずお知らせください。 		お小水の管が抜けた後、排尿量と尿色をチェックするため蓄尿して頂きます。	退院後の日常生活の注意事項を説明します。	退院の手続きと、次回外来の説明をしますので、9時以降にナースステーションにお越しください。入院のご案内の中にあるアンケートにご協力ください。

手術後の経過は、個人差があります。ご不明な点は医師・看護師にお尋ね下さい。